

## 東京歯科大学 口腔インプラント科を受診された患者様へ

この度、東京歯科大学口腔インプラント科において下記の内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みにになり、ご理解いただけましたら、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

東京歯科大学口腔インプラント科では「多数歯欠損症例を対象にしたテレスコープ型インプラント上部構造の長期予後調査」という研究を行っています。これは摩擦力を利用してインプラントの被せ物（歯の部分）を支える装置を使用した治療の治療成績を調べる研究です。

1. 調査の対象は2006年4月から2017年3月の期間に東京歯科大学水道橋病院・千葉病院口腔インプラント科で治療された方の中で、スクリュー固定装置（ねじで被せ物をとめる装置）およびテレスコープ型支持装置（摩擦力を利用して被せ物をとめる装置）を使用した治療を行った患者様が対象となります。
2. 診療録（カルテ）および撮影済みのX線写真を使用し、インプラントの埋入本数、骨の吸収量、被せ物に生じた合併症を調査するため追加の検査や処置は必要ありません。なおご自分のデータを使用されたくない場合は下記担当者までご連絡ください。
3. 患者様の人権擁護に配慮するため、氏名などの個人情報については公表いたしません。
4. 本研究によって生じる患者様への不利益と危険性はありません。
5. 本研究へのご協力をお断りになっても患者様が不利益な扱いを受けることはありません。
6. 本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。
7. 本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

お問い合わせ先

東京歯科大学 口腔インプラント学講座  
研究責任者 守 源太郎  
連絡先 03-5275-1760